

日本西アジア考古学会 第30回総会・大会プログラム

6月21日（土）（第1日目）

12：30 開場

13：00－13：10 開催挨拶 会長 三宅 裕

研究発表1：

13：10－13：30 発表1 山花 京子

「東海大学所蔵古代エジプト及び中近東コレクション（AENET）の保存と活用の現状」

13：30－13：50 発表2 馬場 匡浩、吉村 作治、黒河内 宏昌、Ashraf Mohie

「ギザ西部墓地2024年度調査報告」

13：50－14：10 発表3 藤澤 綾乃

「パレスティナ・テルティアのキリスト教化とその地域差について」

14：10－14：30 発表4 森河 明音

「南レヴァント鉄器時代における貯蔵施設利用にみる新集団の出現」

14：30－14：40 休憩（10分）

14：40－15：00 発表5 西藤 清秀、岩越 陽平、辰巳 祐樹

「パハレーン・ティロス期の葬送行為の復元」

15：00－15：20 発表6 西山 伸一

「東地中海沿岸のアッシリア：レバノンとシリア西部における考古学資料から見たアッシリアの帝国支配」

15：20－15：40 発表7 有松 唯

「高エネルギーX線によるイラン青銅柄鉄剣の内部構造の解明」

15：40－15：50 休憩（10分）

15：50－17：20 （90分） 公開講演

春田 晴郎「アカイメネス朝ペルシア：近年の発見、公刊と研究動向」

18：00－20：00 懇親会 会場／東海大学湘南キャンパス、ログハウス食堂